

船場の道修町は日本を代表する薬の街
大旦那・武田長兵衛の本社は、まさに船場の顔

武田道修町ビル



旧 称：武田長兵衛商店本店
所在地：大阪市中央区道修町 2-3-6
建設年：1928年
構造・規模：RC造3階、地下1階（後年5階に増築）
設 計：片岡建築事務所（松室重光）

大阪の歴史都市・船場は町ごとの特徴が明確で、道修町は「くすりの町」として発展した。江戸時代には日本で流通する全ての薬が、まずここに集められ、現在も名だたる製薬会社が軒を並べる。武田薬品工業も、1781年にここ道修町で薬種の仲買商をはじめ、1925年に武田長兵衛商店を設立、その3年後にこの本店を完成させた。設計したのは大阪建築界の大御所・片岡安の設計事務所にいた松室重光。2013年に耐震補強工事を終え、公益財団法人武田科学振興財団が移転した。同財団では貴重な医学関連の資料を収集した杏雨書屋（きょううしょおく）を運営、展示室は無料で一般公開されている。（高岡伸一）